

大自然と共に生きる道祖神

外国语学部 国際文化交流学科2年 藤本 雄大

まだ眠氣残る自分自身と格闘しながら新宿へ向かい、そこから松本を経由して三時間。周りをアルプスの山々に囲まれ、大自然の天候が残る地域にやつてきた。空気が澄んだこの地域には夏から秋へと流れゆく摂理を確かに感じることが出来た。遠くの山々から流れ落ちる斜面にはうつすらと色づく四季彩、そこから遠く連なる河川は透き通り、藻の間でかくれんぼをする小魚が容易に発見できるほどである。

その土地には我々日本人にとつてもつとも身近な神々が今でも信じられている。長野県安曇野市に多く点在する道祖神像である。縁結び、五穀豊穣、子孫繁榮など人々が願いを込めた道祖神像は今も昔も存在している。

安曇野市観光ホームページによると、道祖神とは、塞ささえの神とよばれており、本来は悪霊や疫病など邪悪な災いが集落に入り込まないよう、村の境に置いたものとされている。昔

は日本全国に多く存在したという道祖神像であるが、現代においてはあまりなじみのないものになっている。ましてや都会に住んでいる我々には全くと言つていいくほど目に見る機会はなく、今では役割をなくした存在なのかも知れない。

しかし、今現在においても、その役割を変え、多種多様な道祖神像が多く存在し、地域の神様としても、観光誘致としても、確固たる市民権を有している道祖神がいる。その地域のひとつが長野県安曇野市である。

我々が訪れた穂高という地域では道祖神像は各時代や地域ごとに人々の願いに耳を傾けていたのであり、その役割というのは時代やその人々によって多種多様である。そして、なぜ長野県、特に安曇野では道祖神信仰が今でも盛んにおこなわれているのかという

人々を災いから守るために作られた道祖神像は、時代やその人々によって多種多様である。そして、なぜ長野県、特に安曇野では道祖神信仰が今でも盛んにおこなわれているのかというところの自然観と共に彼らのアイデンティティーの一つとして遠く昔から受け継がれてきた証拠なのである。

謎だらけの道祖神

道祖神というのは結局のところ何なのでしょうか、という問いに対し、安曇野市豊科歴史郷土博物館の職員の方は正直のところわかりませんと答えていた。これは道祖神を研究する専門の方もこのように答えているようであり、そのような意見が一般的なようである。

人々を災いから守るために作られた道祖神像は、時代やその人々によって多種多様である。そして、なぜ長野県、特に安曇野では道祖神信仰が今でも盛んにおこなわれているのかというところの自然観と共に彼らのアイデンティティーの一つとして遠く昔から受け継がれてきた証拠なのである。



～道祖神 in 安曇野～



安曇野の大自然アルプスの山々と透き通った河川



色彩のある道祖神像 握手 (1883) ほか

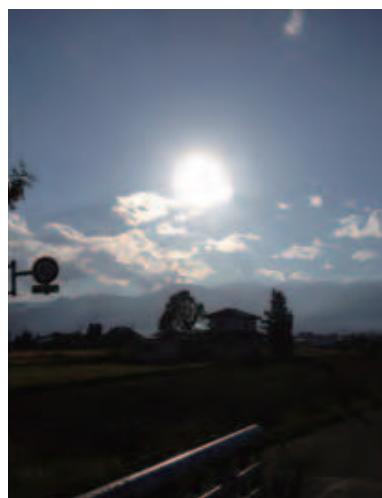
長野県

皆さん、長野県に訪れたことはありますか？ ちなみに私は、行ったことはありませんでした。なので、今回が初となります。

長野県といえば、どのようなことを思い浮かべますか？ 正直に言いますと、私は思いつきませんでした。スキーをしに行く場所しか思いつかなかつたです。無知の状態で長野県に行きました。しかし、訪れた後長野県のすばらしさをたくさん知ることが出来ました。私が感じたことをこの記事に書きたいと思います。

私たち、長野県の安曇野に行きました。東京新宿駅9時発の新幹線を乗り、長野県松本駅12時30分に到着しました。安曇野は長野県松本駅から電車を使い、約30分で到着します。そのまま、安曇野に向かい安曇野に到着しました。私がまず安曇野駅に到着

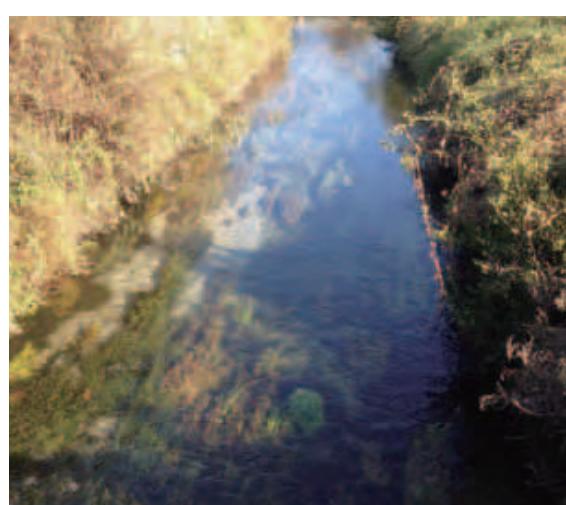
安曇野



→安曇野の空。大空が広がり、気持ちよかったです！

し思つたことは、とにかく空気が新鮮で、澄み通っていました。東京では決して感じられない新鮮な空気でした。私は人生でこれほど新鮮な空気を感じたことがありませんでした。サイクリングで安曇野を観光しましたが、安曇野の冷たい新鮮な空気が体を包むように吹き、体の冷たい空気により、丁度いい体温を保つことができました。

サイクリング中、たくさんのかわいらしい川を見ました。長野県の水はとても綺麗です。川の底がはつきりと見えるくらい水が透き通り、川



に住んでいる魚たちの泳ぎなどがはつきりと見えました。観光地である「大王わさび農場」で水に触れることができます。ここの大王わさび農場の水は、今まで私が知っている水とは違いました。綺麗で澄み通っている水ですが、水の質が違います。とてもサラサラで柔らかい水でし

←写真でも水が澄み通っています。川底が見えて綺麗です。



→ 大王わさび農場：水がとても綺麗でした！
それはわさびもおいしく決まっている！

た。私は今まで水泳で多くの水を見てきましたが、「大王わさび農場」の水が一番美しいです。思わず飛び込みたい気持ちでした。

空気、水と来ましたが、長野県の自然の豊かさは素晴らしいです。まず安曇野のアルプス山です。迫力満点でした。その日は快晴で雲が少なく、アルプス山がはつきりと見えました。安曇野を囲むように、アルプス山がありました。

安曇野は光と水と緑の郷です。町もとでも落ち着いており、車も少なく、自然のすばらしさを感じることができます。是非長野県安曇野に訪れてみてください。もやもやした感情で息詰まっている人は、リフレッシュに丁度いいと思います。私ももう一度行つてみたいと思います。

光と 道祖神

現在安曇野は長野県の

観光の一つとなり、その中でも道祖神を目的にしている観光者が増えています。道祖神を目的に安

曇野全体を回れるサイクリングコースなどもあります。私たちは、サイクリングコースを利用し、安曇野を廻りました。コースは道祖神、観光を中心のコースで、一つのコースで二つの楽しみを味わうことができました。道祖神はある場所にあるのですが、それを一本の道で観光できるようなコースでした。行つたり来たりすることなく、順調にサイクリングができます。

あらゆる場所に道祖神がありました。それは、お



→ お店と道祖神。お店の看板となっています。

店にある道祖神です。何件かのお店の前には道祖神がありました。その道祖神にはなにかの意味があるのか。それとも、ただ置いてあるだけなのか、気になりました。現在安曇野は、道祖神を利用し、観光客を増やしています。安曇野にとって、道祖神は地元を盛り上げていく手段になりました。今後の安曇野は道祖神と観光をどのようにして発展するのか気になります。